



A コマンド

この章では、A で始まる Cisco NX-OS ホットスタンバイ ルータ プロトコル (HSRP) コマンドについて説明します。

authentication (HSRP)

Hot Standby Router Protocol (HSRP; ホットスタンバイ ルータ プロトコル) の認証を設定するには、**authentication** コマンドを使用します。認証をディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

```
authentication {string | md5 {key-chain key-chain | key-string {0 | 7} text [timeout seconds]} | text string}
```

```
no authentication {string | md5 {key-chain key-chain | key-string {0 | 7} text [timeout seconds]} | text string}
```

構文の説明

md5	Message Digest 5 (MD5) 認証を指定します。
key-chain <i>key-chain</i>	認証キーのグループを識別します。
key-string	MD5 認証の秘密キーを指定します。
0	クリア テキスト文字列を指定します。
7	暗号化文字列を指定します。
<i>text</i>	MD5 認証用の秘密キー。範囲は 1 ～ 255 文字です。16 文字以上を推奨します。
timeout <i>seconds</i>	(任意) 認証タイムアウト値を指定します。範囲は 0 ～ 32767 です。
text <i>string</i>	認証ストリングを指定します。範囲は 1 ～ 255 文字です。デフォルトの文字列は「cisco」です。

コマンド デフォルト

ディセーブル

コマンド モード

HSRP コンフィギュレーションまたは HSRP テンプレート モード

コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(3)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン

authentication text コマンドを使用し、誤って設定されたルータが参加する意図のない HSRP グループに参加するのを防ぎます。認証ストリングはすべての HSRP メッセージで暗号化されずに送信されます。相互運用を保証するために、同じ認証ストリングを同じグループのすべてのルータに設定する必要があります。認証しない HSRP プロトコル パケットは無視されます。



注意

2 台のルータに同一の HSRP IP アドレスを設定したが、設定した認証ストリングが異なる場合は、どちらのルータも重複を認識しません。

例

次に、HSRP グループ 2 の認証ストリングを設定する例を示します。

```
switch# configure terminal
```

```
switch(config)# interface ethernet 0/1
switch(config-if)# no switchport
switch(config-if)# ip address 10.0.0.1 255.255.255.0
switch(config-if)# hsrp 2
switch(config-if-hsrp)# priority 110
switch(config-if-hsrp)# preempt
switch(config-if-hsrp)# authentication text sanjose
switch(config-if-hsrp)# ip 10.0.0.3
switch(config-if-hsrp)# end
switch(config-if-hsrp)#
```

関連コマンド

コマンド	説明
feature hsrp	HSRP をイネーブルにし、HSRP コンフィギュレーションモードを開始します。
hsrp group	HSRP グループを作成します。

